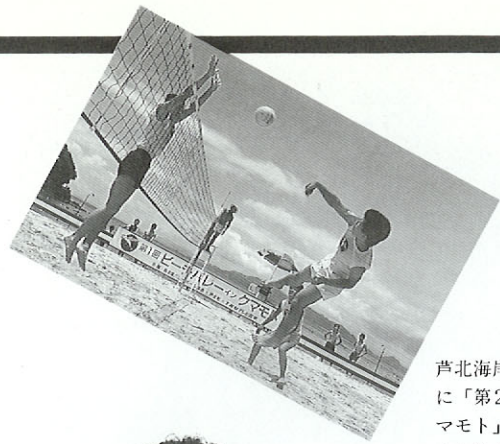


芦北事務所 の巻

夏本番。青い海、緑のリアス式海岸、白帆のロマンス船、県下一の海水浴客で賑わう白砂ビーチ。この水俣、芦北地域は、「夏ががいちばんよく似合う。さあ、健康保養基地づくりをめざす水俣・芦北の夏の元気を見てください。」

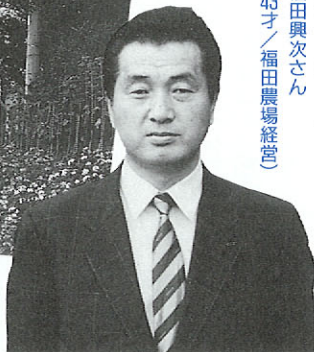
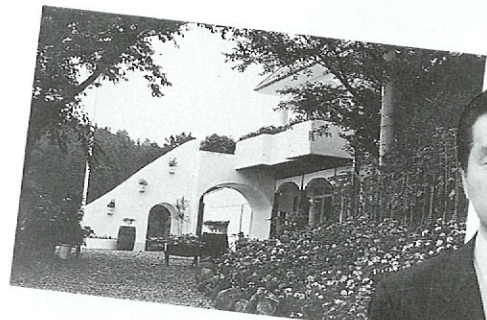
(芦北事務所 広報担当 高松孝行)



芦北海岸白砂ビーチでは、8月27日に「第2回ビーチバレー・イン・クマモト」を開催。若者も、もと若者も大集合！



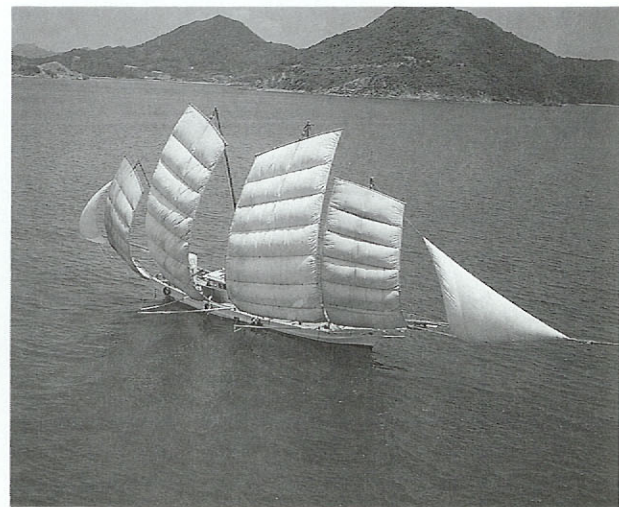
「恋龍祭」の競り舟大会も昨年は、男女61チームと過去最高。台湾のドラゴンボートチームの参加もあり、年々盛り上がってます。市民の輪、交流の輪がもっと広がればいいですね。
●岩坂雅文さん
(41才/水俣市競り舟協会理事長)



オレンジと太陽とリアス式海岸。スペインと湯の泉は、とてもよく似ています。そこで、今進めているのが「スペイン村」構想。8月6日には、湯の泉サマーフェスタの中で、スペイン祭りを聞きます。
●福田興次さん
(48才/福田農場経営)

昭和56年に、4隻で始めた観光うたせ船も、現在35隻。1隻に12人まで乗れますから、団体のお客さんでも大丈夫。11月いっぱいやっています。

●楠山政徳さん
(41才/芦北町観光うたせ船組合理事)



本格的な海洋レジャー公園「御立岬」

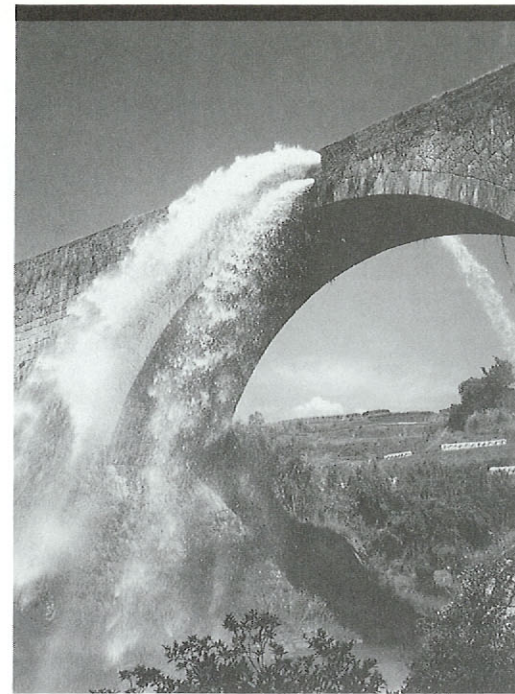
WATCHING GENKIZUKAN

ウォッチング

元気図鑑

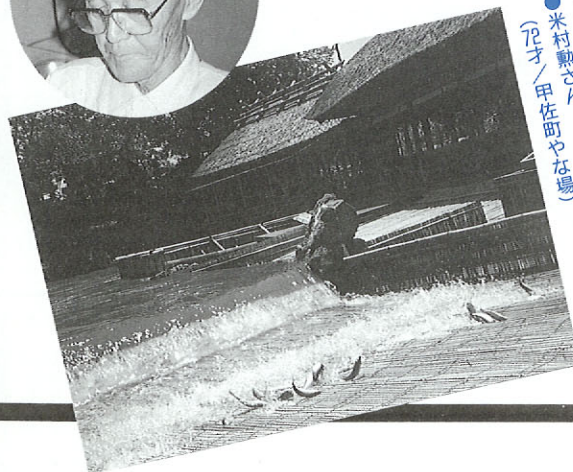
先祖が通潤橋の建築に携わり、以来約135年間放水など、代々、橋の管理を任せられています。私でもう5代目。通潤橋は美しい自然とともに矢部の誇りです。

●原田悦穂さん
(48才/通潤橋放水係)



水は嘉島の命。私たち保存会は全部で400戸です。環境美化活動を通して、この湧水を守ってきました。いつまでもきれいであるように、これからも頑張ります。

●下田秋信さん
(69才/嘉島湧水保存会会長)



板前歴54年。また、甲佐のやな場で6月から10月の間営業させていたいただきます。緑川の清流が鮎を育てるよ。うに、料理も味が人を呼びますよ。ちろん、私も味で勝負しますよ。
●米村勲さん
(72才/甲佐町やな場)

上益城事務所 の巻

豊かな自然に恵まれ、石橋に代表される文化遺産と古い歴史を持つ「かみましき」。なかでも「水」は、この地域の活力源です。うまい米、清流の鮎やまめ、近く立地予定のビール工場など、すべて豊富できれいな水がポイント。水を守り、水とうまくつきあっている元気な人をウォッチングしました。

(上益城事務所 広報担当 塘地加奈子)



約50年ぶりに蘇った七滝の雄姿。今年から年に一度、5月15日の七滝神社大祭の際、発電所の放水により、七滝の飛瀑が見られるようになった。